

 鳥取県

<https://tottori-ne-st.jp>

ザ
ワ



とっとり健康省エネ住宅

NE~ST

ザ
ワ

ザ
ワ

ト  ビア

うそみたいなほんとのはなし

ザ
ワ

ザ
ワ

この本は、知っているも知らなくてもどっちでもいいけど、知っておくと絶対NE-STが欲しくなる。すでに建ててしまった人、これから建てる人、すべての人の読後の感情を揺さぶる最新住環境のトリビア本です。

「国がやらないなら鳥取県がやる!」そんな鳥取県の本気が実現させた「とっとり健康省エネ住宅NE-ST」。性能や小難しい話は置いて、もしNE-STに住んだらどうなる?をこの本と一緒に想像してみてください。

私たちはみなさんの暮らしを応援しています。

鳥取県生活環境部くらしの安心局住宅政策課

NE-STトリビア読本 | 目次 |

- 01 NE-STとは?
- 02 暮らしてわかる体感メリット 快適編
- 04 NE-STにしたらこんなに変わる!? びっくり生活編
- 08 ただ家を建てただけなのに…。人間関係編
- 09 あなたはどのNE-ST? おすすめグレード診断



NE-ST(ネスト)とは、NEXT STANDARDの略である。

「NE-ST」は、鳥取県が独自に設けた、家の「断熱」と「気密」の性能基準です。高断熱・高気密な家は、冬はあたたかく(夏はすずしく)、快適で、健康にも効果があり、しかも、省エネというメリットを挙げればきりが無い新住宅基準。

NEXT STANDARD(次世代の定番)だなんてちょっと大袈裟!と思うかもしれませんが、令和4年度には新築木造戸建住宅のうちNE-STが3割まで増加。「暮らすための家」のスタンダードは着実に変化しています。



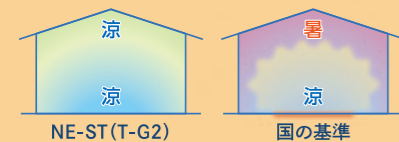
暮らしてわかる 体感メリット 快適編



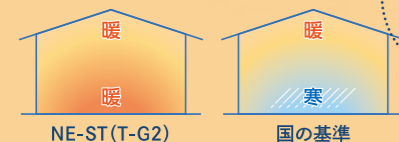
NE-STな家族は、
エアコンを頑張らせない。

壁や床に張り巡らされた断熱材によって、エアコンで設定された空気が少ないエネルギーでムラなく一定に保たれます。しかも冬は足元まで暖めるので厚手のルームソックスも不要。断熱性能が低いと夏には冷房がパワー全開で頑張すぎて足元が冷えすぎてしまうことも。疲れやすさやめまい、頭痛、腰痛などの不調の原因となるので注意が必要です。

■夏の場合



■冬の場合



天井の温度に
エアコンが
負けてしまう!

結論 エアコンの頑張りと室内温度は比例するとは限りません。

■NE-ST vs 国の省エネ基準の電気料金比較図
(1kwh=38円の場合)

夏		冬	
平均外気温34.0℃/エアコン28℃設定		平均外気温7.0℃/エアコン18℃設定	
国の省エネ 2.5kwh 約95円	NE-ST 2kwh 約76円 20%削減!	国の省エネ 12kwh 約456円	NE-ST 7kwh 約266円 42%削減!

電気の使用量が少なくて済むから
NE-STはお財布にやさしい!

浴室が リビングよりも暖かい!?

冬場に暖房の効いたリビングから寒いお風呂に移動することで起こるヒートショック。NE-STな家ではお風呂はお湯が熱源となって、なんとリビングよりも暖かくなります。服を脱いで震えながら湯船にかかることも、入浴後にバスタオルで体をふいているうちに冷えてしまうこともなくなります。

結論 「高温差し湯」よ、さようなら。



実は防音ルームとしても優秀。

子どもがいる家庭は何かと「音」には気をつかうもの。戸建てだからといって振動や大声を出せば近所には筒抜けです。プライベートな空間の防音性能を高めるためには、地盤や基礎工事はもちろん、NE-STのように厚い断熱材を使用することで熱だけでなく音も通しにくく、一般的な住宅の約3倍(10dB)静かになります。もちろん、窓を閉めるなどの配慮は必要です。

結論 心当たりのあるご家庭は、
一度断熱をご検討ください。



怪奇現象!?

冬に水道をひねると、 温かい水が出る。

かつては床下の通風は湿気対策などのために重要視され、床の裏面に断熱する「床断熱」が主流でしたが、NE-STの多くで採用している基礎断熱の場合、室内同様に配管が暖められているため、冬は温かい水が出るのです。



結論

手荒れは過去のもの。



NE-STにしたら こんなに変わる!?

びっくり生活編

いつのまにか

ミニマリストになっている。

こたつやストーブ、除湿機のような季節を代表するかさばる家電は、せっかく大きな収納スペースがあっても荷物になりがち。NE-STなお家はエアコンだけで充分なので必要のないものばかりです。布団などの寝具も冬用を引っ張り出してこないと寒い!ということもありません。

結論

収納スペースではなく、

断熱にお金を使いましょう。

ただ住むだけで

アンチエイジングになる。

室内の温度差がなくなると1日の歩数が1400歩、部屋間の温度差をなくすと2000歩*も増えることが分かっています。人が健康的でいられる室温は21℃とされているので、一年中春のような室温のNE-STは、心も身体も健康でいられるアンチエイジングハウスという言葉がピッタリなんです。

※出典：岩前篤教授「断熱性能と健康」日本建築学会第40回 熱シンポジウム講演集

結論

住まいから健康になりましょう。





お風呂のお湯の温度が一年中同じ

あなたのお家では、お風呂のお湯の温度設定が夏は40℃、冬は42℃になっていませんか? そうなると、どんなに新築であっても少なくともお風呂に関しては「保温されている」とは言えないかもしれません。NE-STのお家のお湯は一年を通して40℃で充分。寝室も暖かいので湯冷めすることはありません。湯温が下がることで高血圧などの体への負荷も減ります。

結論 お風呂のお湯の温度は、断熱性能のバロメーター。



#夜間電力、やめました。

オール電化のお家では、電気料金を少しでも安くするために夜間電力で給湯などを利用していることが多いのですが、実は夜間電力は年々値上がりしています。NE-STで太陽光発電を設置した場合、昼間の発電(再生可能エネルギー)を最大限利用すると電気代を安くすることができます。

結論 太陽の恵みでお得に暮らしましょう。

郵便受けが遠い。

NE-STレベルの断熱効果を維持するには、壁抜き郵便受けはNG。毎日の新聞や郵便は屋外に設置した郵便受けに取りにいかないといけないデメリットも。ただ、NE-STは冬でも室内が暖かいので少しくらい外に出ることはあまり気にならないはず。毎日のルーティンとして外の空気に触れ、気分をリフレッシュさせるのも良いものですよ。

結論 ほんの2~3mです。



急な来客にはあまりにもラフな格好になりがち。

高性能な断熱材を使用しているNE-STな家は、冬でも衣服や布団が薄手のものでOK。うっかり薄着でとびだすと、玄関のドアが開いた瞬間に凍りつくことに。

結論 一枚羽織があると安心です。



